

札幌大谷中学校・高等学校

## 2022年度外部点検・外部評価

2023年5月8日

2022年度の学校方針に基づく教育活動・運営の年間反省（自己評価）の点検・評価をいただき、次年度に向けての教育現場の改善を図るものである。

札幌大谷大学学長

氏名

千葉 潤



- ・コロナ禍での学校運営が3年目を向かえ、対面授業を中心にしつつも、オンライン対応も活用して、臨機応変に学修環境の安定を図っています。
- ・建学の精神の指導においては、教員・生徒・保護者のそれぞれに対して、出版物やHPを活用することや、口頭説明の機会を定期的に設定することで、周知していることが高く評価できます。
- ・中高ブランドデザインに掲げられた活動方針が各部署に確実に周知徹底され、それを具現化した目標達成に向けて着実に実行されています。
- ・中学・高校とも学園全体のブランド化に向けて、教師陣の指導法の改善に意欲的に取り組んでいる点が評価できます。
- ・学園内の連携課題として、中学から高校、高校から大学、それぞれの内部進学者の拡大を図る対策が取られ、実績を上げている点が評価できます。

札幌大谷中学校・高等学校

## 2022年度外部点検・外部評価

2023年5月7日

2022年度の学校方針に基づく教育活動・運営の年間反省（自己評価）の点検・評価をいただき、次年度に向けての教育現場の改善を図るものである。

### 保護者と教職員の会会長

氏名 伊藤 智秀



校訓・建学の精神を教育の支柱とし、各学校行事をはじめ、授業や部活動などにおいて、管理職・教職員・学校関係者・部活動指導者が生徒との関係性を深め、生徒自身が自主的・主体的な生活をしていく環境を、常に整えていこうとする姿勢が高く評価されます。

特に生徒指導については、「挨拶の励行」が伝統的に浸透しており、開かれた学校として、その場が生き生きとしているように感じます。

常に変動する時代社会ではありますが、人と場の連携を大切にし、伝統ある札幌大谷の更なる発展を願っております。

札幌大谷中学校・高等学校

## 2022年度外部点検・外部評価

2023年5月10日

2022年度の学校方針に基づく教育活動・運営の年間反省（自己評価）の点検・評価

をいただき、次年度に向けての教育現場の改善を図るものである。

後援会会長

氏名 鈴木 忠壽 

2022年度一年間大変おつかれ様でした。思えば  
2020年度からの3年間新型コロナウイルス感染症に翻弄  
されて来て生徒の皆さん達にいろんな意味でつらい事や悔しい  
想いをさせてしまったのだらうと考えさせられます。  
2022年度により環境も変わってきて学校行事は概ね良行  
に実行出来たとの事。特に体育祭や学校祭においては自主的、  
主体的取り組みを奨励し、生徒も期待に応えてくれたとの事。  
さあ、これから増々学校全体の向上を計っていかねれば  
なりませんね。学習指導の中の「自学」には魅力ある授  
業・力をつける授業を展開することが必要となります。  
反省の事も多々有るかと思いますが2023年度への学校  
全体が一つになつて目標達成の為に頑張ってください。